

科目名 (英文表記)	<b>アカウンティングⅡ (コストマネジメント)</b> <b>( Accounting Ⅱ )</b>		
科目区分	基礎科目	単位数	2 単位
担当教員名	堺 昌彦	ナンバリング	MBA_C_AC 5221
研究室番号	444	研究室電話番号	27-5352
Eメール・アドレス	msakai@res.otaru-uc.ac.jp		
<b>授業の内容及び方法：</b> 次頁以降に記載			
<b>授業の目的：</b> 組織における経済活動を合理的に計画しコントロールするにあたって、原価情報は不可欠である。原価計算の重要な役割の1つは製品の原価を計算することであるが、原価計算の役割はそれだけに留まらない。目的に対して適切な概念と技法を用いることによって、原価計算は、組織における計画、コントロール、および意思決定において有用な経済的情報を提供することができる。本授業では、このような原価計算の理解を深めるために以下の事項を取りあげる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 原価計算の意義と基礎知識</li> <li>2. 製品原価計算の基本構造</li> <li>3. 標準原価計算とその活用</li> <li>4. 活動基準原価計算 (ABC)</li> <li>5. サービス業における原価計算と顧客収益性分析</li> <li>6. 原価企画と源流管理による原価低減</li> <li>7. 品質とコストの関係</li> </ol> 到達目標としては、戦略策定や業務改善のさまざまな局面において適切な原価情報がどのようなものかを理解し、またそれらの局面において適切な原価情報を活用することでより合理的な意思決定を行えるようになることである。			
<b>使用教材：</b> 授業で用いるテキスト、資料、課題については適宜配布する。			
<b>成績評価の方法：</b> 授業への参加度 (20%)、事前課題・事後課題 (30%)、小テストおよび最終試験 (50%) を総合的に判断して評価する。 評価に不服のある場合には、不服申立書を以て、教務委員長に申し出ること。			
<b>履修上の注意事項：</b> ・「アカウンティングⅠ (財務会計)」(基本科目) が履修済であることを前提とする。 ・基本的に Excel の使用を前提とする。 ・各モジュールの内容は変更することがある。			